

施設見学会



南あわじウインドファームで
説明を聞く参加者



風力発電設備



風力発電機の下部

電気設備の関連施設などの見学を行い、最新技術情報の習得を図るとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が開催されました。今年は淡路島内の施設を見学することとし、C E F南あわじウインドファーム㈱の風力発電と大鳴門橋記念館及び淡路市が運営するあわじメガソーラー 1 の施設見学並びに千年一酒造㈱の酒蔵見学を行いました。

総勢 33 名がこの見学会に参加し、平成 23 年 10 月 26 日（水）8 時 30 分明石駅前を出発しました。

最初に、南あわじ市の C E F 南あわじウインドファーム㈱を訪問し、風力発電施設を見学しました。

この風力発電施設は平成 19 年 8 月に設置され、15 基で 37,500 KW の出力があり西日本最大級の規模であるが、現在の売電価格では経営上厳しいとの説明がありました。



メガソーラー 1 の説明を
聞く参加者



ソーラーパネル



試飲する参加者

次に、大鳴門橋記念館のうずしお科学館を見学し、同館内のレストランでの昼食の後、淡路市を訪問し、午後 1 時から同市が運営するあわじメガソーラー 1 の施設を見学しました。

メガソーラー 1 は 4 億 6 千万円の事業費をかけて、温暖で降水量の比較的小さい淡路の気候特性を活かし淡路市役所に隣接したスペースに平成 22 年 11 月に設置し、1,000 KW の出力規模があり、市役所庁舎を始めとする 3 施設に送電しているとの説明がありました。

この後、淡路市久留間の千年一酒造㈱を訪れ、同社の事業概要の説明と酒蔵見学の後売店での試飲を楽しみました。

最後に、淡路サービスエリアのハイウェイオアシスに立ち寄り、見学会は和やかな雰囲気の中帰路につきました。

帰りの車中で行った参加者に対するアンケートでは、スケジュール的にも余裕があり、5 施設とも有意義な見学対象であったと好評でした。